

パネルディスカッション
『これからの統計教育』

これからの統計教育

モデレータ 中西 寛子(成蹊大学)

2013年1月 「統計学が最強の学問である」が出版

2013年10月のシンポジウム(早稲田大学)

「統計学」はブームか？

— その時の出席者、狩野氏と西内氏

2016年2月 単なるブームではなかった！

それでは統計教育についてはどうか？

- ・小・中・高のカリキュラムの改訂
- ・大学入試センター試験の数学 I に統計の分野の出題

まだまだ十分とは言えない

特に、大学での統計教育は課題が多い

これからの統計教育

登壇いただくパネリスト

「これからの統計教育」

それぞれの立場でのお話

4名のパネリストの略歴
〈プログラムを参照〉

コメント：統計、統計教育に関することなら「何でも」自由に！
〈プログラムを参照〉

パネリスト紹介(講演順)

西内 啓

(統計家・東京大学政策ビジョン研究センター客員研究員)

「統計学が最強の学問である」の著者であります。氏は自らを統計家としてお仕事をされています。社会が求めている統計教育についてお話しさせていただきます。

肥後雅博

(日本銀行調査統計局参事役)

日本銀行で扱っている公的統計のみならず、我々の生活に必要な公的統計と統計教育の必要性についてお話しいただきます。

パネリスト紹介(講演順)

田栗正章

(高大連携委員会副委員長・大学入試センター元副所長・名誉教授)

多種の経歴をお持ちですが、本日は大学入試センター元副所長という立場で、初等教育から高等教育に至るまでの統計教育の諸問題や最近の動向についてお話しさせていただきます。

狩野 裕(運営委員・大阪大学教授)

大阪大学で教鞭をとられる教育・研究者です。統計学が重要であると指摘される中で、現在の大学における統計教育の実情と課題についてお話しいただきます。

問題提起

- ✓ 3年前と比較して統計に対する社会での認識は変わってきたか？
(特に西内氏へのお題)
- ✓ 学生(または社会人)は社会で使う統計を理解しているか？
(特に肥後氏へのお題)
- ✓ 对学生の統計教育が遅れると何が起こるのか？
(特に田栗氏へのお題)
- ✓ 統計の分野で学生に絶対に教えておくべきことは何？
(特に狩野氏へのお題)

フロアーからの質疑を含め、議論を進めます。

注意事項

お一人 10分までで お願いします